



暮らしの発見

岩盤浴の 発祥地



「岩盤浴」とは、一般的な入浴のようにお湯につかるものではなく、温められた鉱石の上に横になり、発汗効果などの温熱作用を促す温浴法のこと。熱いお風呂が苦手な人でもたくさん汗がかけると、雑誌やテレビで盛んに取り上げられています。すでに試したことのある人も多いのでは？

岩盤浴の発祥地は、秋田県にある玉川温泉。ここの岩場にある北投石という岩石は、遠赤外線とマイナスイオン、さらに微量の放射線を放出しているたいへん珍しいもので、国の天然記念物に指定されています。がんなど、難病の患者さんが放射線湯治に訪れていたことから注目を集め、医学的な研究の対象にもなっています。

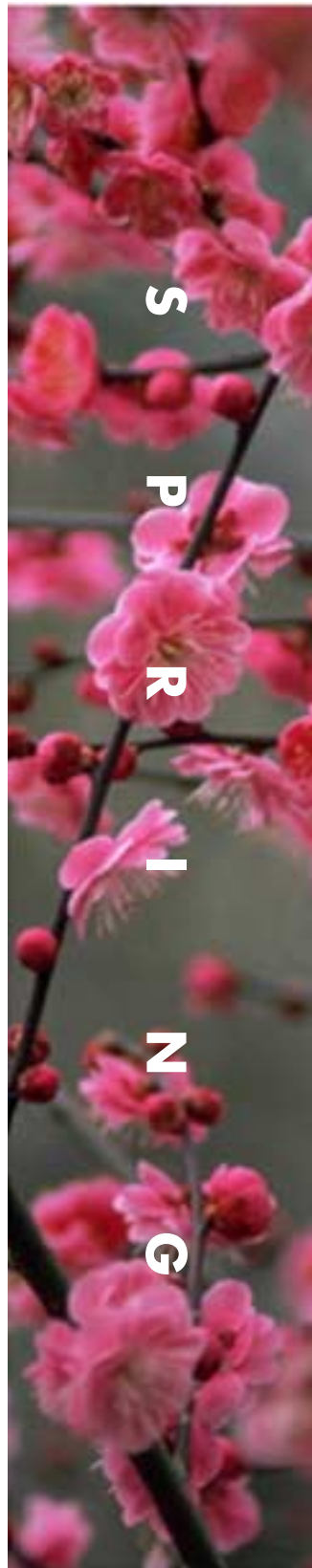
現在岩盤浴の岩石として広く用いられているのは、ブラックシリカによる人工岩などがありますが、条件は、遠赤外線とマイナスイオンが出ていること。この遠赤外線とマイナスイオンこそ、岩盤浴効果のヒミツなのです。

(からだの本より)

サクラ

桜の自生種は主に東アジアに分布していて、植物学上の分類によれば、中国には33種があります。一方、日本には、分類の仕方にもよりますが9種の桜があるに過ぎません。東アジアではこの他、ヒマラヤに3種類の野生種があります。東アジア以外では、ヨーロッパから西シベリアにかけて3種、北米に2種あります。栽培品種がもっとも多いのは日本です。日本には、野生種と栽培種類とを含めて約340種類の桜があります。世界でもっとも桜を愛しているのは日本人だと言われることがありますが、確かにその通りだと納得する種類の多さです。

全国の桜名所のうち約8割が染井吉野で、先に花が咲き、後から葉が開きます。桜の種類によっては花と葉がほぼ同時に開くものもありますが、染井吉野のように花が先のほうが見栄えるため評判がいいのです。また、染井吉野の花は少し大き目で、花付きもよく、見た目が豪華です。更に、成長が早く10年も経てば立派な木になり、他の桜に比較すると若いうちから花をつけます。



保険のいろいろ

補償対象の 範囲外



この春、子供が自動車免許を所得したという方、保険は大丈夫でしょうか？例えば子供が高校卒業時に免許を所得した場合、30歳未満不担保(30歳未満の人が運転者の場合、補償しない)では、子供の運転時に補償対象にはなりません。保険の見直しが必要となりますが、年齢や運転者の限定をすれば保険料を割安にできるのです。例えば、子供特約にすれば、記名被保険者とその配偶者の同居の子供、または未婚の別居の子供が運転する場合において、主契約の年齢条件はそのまま、子供のみ年齢条件を前年齢担保にする、あるいは特定年齢条件にすることができます。

運転者の家族限定は、記名被保険者とその家族に限定することにより、保険料を5%割引くものですが、ここでいう家族とはどこまでをいうのでしょうか。自動車保険でいう家族とは、記名被保険者・その配偶者・上記のいずれかの同居の親族・記名被保険者またはその配偶者の別居の未婚の子となります。よく問題になるのが、最後に示した子供の場合で、結婚すると同居しない限り家族とはならず、補償対象になりません。どの方法が一番得策かは、どうぞご相談ください。